

問 新しい生活様式の周知を求める

答 イラストで分かりやすく広報する

問 新しい生活様式が、感染拡大後の日常生活を取り戻すため、国から示された。ワクチンがない中で、新型コロナウイルスの再流行を抑え込むためには、日常生活のあらゆる場面での感染対策が求められている。国の専門家会議では「当たり前前」のことが感染防御にかなり役立つ」とし、今後の対策として感染拡大が加速する場の回避と、新しい生活様式の徹底を挙げた。村はこの取組をどう周知するか。



新しい生活様式を取り入れましょう

答 6月10日号の広報とかいいで掲載する記事は、イラストを用いて理解しやすいものとした。今後もさまざまな方法で、分かりやすく伝えたい。



公明党
おがさき さとる 議員
岡崎 悟

問 村HPで紹介されている記事は、十分ではない。新型コロナウイルス対策を広報する際は、見る側の住民のことを考えて、イラスト等を活用し周知を進めてはどうか。

答 感染拡大予防のため「新しい生活様式」が住民の日常生活に定着するよう、さまざまな媒体を活用し、広く伝えている。

問 学校教育の情報環境整備について

答 情報機器を使いこなす力が必要

問 文部科学省が進めるICTの活用状況について伺う。新型コロナウイルス感染拡大により、学校が臨時休校になり、働き方改革として進めてきたテレワークやオンライン教育などの必要性が改めて認識された。現状では、学校や家庭の情報環境は満足がいく状況ではないことから、村における子どもたちの学びの保障について、村の考えを伺う。



生徒がICTを活用して発表するイメージ図
(文部科学省HPより抜粋)

答 本村では、情報環境が整っていない家庭にDVDプレーヤー等を貸出し、登校日にパソコン室で動画を視聴してもらうなど対応を行い、ネット環境がある家庭と同様に学びの場を提供してきた。10年後、20年後の社会を想像したとき、人工知能が発達し、超情報化社会を迎える。すると否応なしに、ICT機器を道具として使いこなす力を子どもたち自身身につける必要がある。先生も生徒もツールとして当たり前前に使いなす情報環境整備を検討している。



新政とうかい
たけ べ 武部 議員
しんいち 慎一